

柏市指定管理者候補者選定委員会（柏市国際交流センター）
（書類審査及び面接審査）会議録

1 開催日時

令和7年10月16日（木）午後2時30分から午後4時15分まで

2 開催場所

柏市役所本庁舎5階 第5・6委員会室

3 出席者

（1）委員

染谷副市長（委員長），小島企画部長（副委員長），鈴木総務部長，中山財政部長，
佐伯共生・交流推進センター所長，森竹外部委員，金外部委員

（2）事務局

共生・交流推進センター：森山主査，長妻主査

（3）その他

甲州 智哉氏（公認会計士）

4 配布資料

- ・次第
- ・資料1 柏市国際交流センターの募集概要及び要求水準
- ・資料2 応募資格審査報告
- ・資料3 財務状況の分析結果報告
- ・資料4 応募内容比較表
- ・資料5 指定管理者候補者の選定審査評価表，評価における意見
- ・資料6 候補者選定の考え方

5 書類審査議事録（要旨）

（1）はじめに

委員長から開会の挨拶

事務局から配付資料の確認

（2）書類審査

ア 資格審査（事務局から説明）

- ・応募団体・応募団体の報告

事務局から資料2 柏市国際交流センターの募集概要及び要求水準及び資料3 応募資格審査全17項目について審査したところ，特定非営利活動法人柏市国際交流協会について全ての資格を満たしていることを報告。その後，委員により応募資格を満たしているものと認められた。

イ 財政状況分析結果

公認会計士の甲州氏から財務状況分析結果として，事業計画書，収支計算書，貸借対照表，活動計算書及び財産目録の分析の結果について説明。

【主な質疑応答】

- ・特になし

ウ 提案内容の審査（事務局から説明）

- ・市民の平等な利用の確保
- ・施設の効用
- ・サービスの向上
- ・管理を安定して行う能力
- ・効率的な管理
- ・その他

【主な質疑応答】

森竹委員 この後の面接審査の際、応募団体に直接質問する時間はあるか。

事務局 プレゼンテーション後に質疑応答の時間を設けている。

金委員 プレゼンの内容だけでなく、応募書類の内容についても質問してよいか。

事務局 質問いただいて構わない。

エ 評価方法 選定評価審査表について（事務局から説明）

- ・応募団体の評価について

応募団体の面接審査を実施し、各審査の総合評価とする。評価は、各委員の採点の内、最高得点と最低得点を除いた5名の合計評価点とする。評価の基準点は、5名の合計点数が300点以上の場合に指定管理者候補者として選定する。

面接方法は、20分のプレゼンテーション後に40分の質疑応答の合計60分（1時間）の面接審査を実施する。

6 面接審査議事録（要旨）

応募団体による20分間のプレゼンテーション後に40分間の質疑応答が行われた。

【主な質疑応答】

中山委員 ボランティアを活用することによって、コスト面では有利かと思うが、講座の質はどのように確保しているのか。また、協会とセンターの事業がイコールになっているように見えるが、指定管理事業と独自事業をどのように切り分けているのか。

応募団体 指定管理事業及び自主事業が協会の活動の8割を占めている。姉妹都市派遣関係は負担金事業として分けて行っており、独自事業も会員に対してのみ行うもので、非常に少ない。

ボランティアの質については、研修会を行っている。また、スタッフが講座の実施状況を実地に確認し、質が保たれていることを確認している。

金委員 学生青年オンライン交流会についてもう少し詳細に説明してもらいたい。この事業も指定管理事業か。

応募団体 派遣された学生等が集まって交流を行う交流委員会があり、外国人を交えてオンラインで語学学習を行っている。これも指定管理事業である。

金委員 「外国人の為の仕事でつかえる日本語サポート」は、どのような計画で実施をお考えか。また、どの事業に含まれているか。

応募団体 スタッフの一員である行政書士が「在住外国人が困っている」という実感を持っており、是非次期指定管理事業で本サポートを実施したく、現在計画を策定中。指定管理事業に含まれている。

金委員	広報に力を入れたいとのことであったが、現状そこまで閲覧数がないように見えた。スタッフの確保など、今後の見通しは。
応募団体	XやInstagram等で情報発信はしているところ。派遣等で子供が参加した際に、その親を取り込みたいと考えている。
森竹委員	3点質問がある。①JICAのホームタウン問題等、昨今の排外主義を受けて、気を付けている点や所見があれば伺いたい。 ②ボランティアの高齢化が課題だと考えるが、世代交代は進んでいるか。また、英語等と違い、少数言語の通訳ボランティア希望者は少ないと思うが、このような人材確保はどのように行っているか。 ③多文化共生に興味のある方は全体の一部であると考えてるが、それ以外の一般層に働きかける広報の予定があれば伺いたい。
応募団体	①正しい情報を知らないことが、外国人が怖いと感じる原因であると考えてる。各委員会の集会等で各々が得た情報を交換し合い、偏見を持たず正しい情報を発信していくことが重要と考える。 ②現在の経済情勢で若い方にボランティアをとというのは難しい部分があるので、65歳から80歳までのアクティブシニアに活躍してもらうのも良いと考えている。 少数言語の通訳ボランティアについては、たまに問い合わせを頂くことがあるが、人材確保は難しいのが現状。 ③多文化共生は難しいが、皆同じ人間であり、日本以外の文化を否定することはできない。このことを参加者へ伝えることが必要だと考えている。
鈴木委員	これまで行ったアンケートでは、どんな回答があったか。また、その回答に対して何か対応したことがあれば教えてほしい。
応募団体	イベントアンケートでは「こんな講師を呼んでほしい」「〇〇語をやってほしい」等の意見をいただくが、ボランティアと話し合って、要望に近づけるように検討している。
鈴木委員	講座受講者に対して満足度アンケートを行っているか。また、目標値はあるか。
応募団体	満足度は毎回約80～90%。この満足度であればよいと考えている。
小島委員	ベトナム、フィリピン、ネパール人が増えていると思うが、このあたりの人口の伸びが大きい国籍の方のイベント参加状況は把握しているか。
応募団体	当外国籍の方の参加が増えてきているのは日本語教室。日本語がほとんど話せない方も多いので、まずは日本語を話せるようになってから、他のイベントにも参加していただけると考えている。
小島委員	次期は日本語教室が指定管理事業に移行するが、御社が引き続き指定管理者となった場合、これまでと内容に違いがあれば教えてほしい。もしくは、民間が行う日本語学校と差別化している点があれば伺いたい。
応募団体	指定管理事業になったという理由で授業内容は変えないが、裕福でない外国人の方もいる中で、無料で受講可能になることをスタッフは喜んでいる。 民間の日本語学校は高額な受講料が必要で、比較的裕福な方が通うものであるが、こちらは日本での生活に困らない、孤独にならないために実施しているも

- ので、全く違うものと考えている。
- 佐伯委員
応募団体
提案書内に「通訳のサポート」とあるが、同行支援も想定しているのか。
想定している。現在も通訳者のリストはあり、依頼があった場合はその中から
お願いしている。
- 佐伯委員
応募団体
アンケート調査の方法について詳しく教えてほしい。
施設アンケートについては、ホームページ上からも意見ができるほか、カウン
ターに意見箱も設置している。
- 金委員
応募団体
外国人ボランティアの人数はどのくらいか。また、国籍はどこが多いか。
外国人の会員は少ないが、日本語教室の受講者が200人以上いるため、何か
協力を仰ぐ際には受講者を巻き込むことができる。また、外国人による分科会
もあり、15名程在籍している。東南アジアや南米の方が多く、積極的に活動
してくれている。

7 候補者の選定

【決定事項】

特定非営利活動法人柏市国際交流協会を指定管理者候補者とする。